



# 那須与一伝承館通信〈第26回〉

## ○豊臣秀吉朱印状

今回は那須与一伝承館が収蔵する資料の中から豊臣秀吉朱印状を紹介いたします。

本品は、天正十八年（一五九〇）に豊臣秀吉（一五三七〜九八）が那須資景（一五八六〜一六五六）に宛てた書状です。

その内容は、『下野国那須内』において、合せて『五千石』のことについて、『目録別紙』を『相添』えて『那須藤王』（資景に『扶助』（援助）します。これらの土地を『領知』しなさい」とあります。

天正十八年（一五九〇）、資景の父資晴（一五五七〜一六一〇）が秀吉の小田原攻めに参加しなかったため、那須氏は所領を没収されてしまいました。

しかしその直後、資景が那須郡福原（現在の太田原市福原）を中心とする五千石を与えられ、那須氏は復活しました。この時、資景は数えでわずか五歳の子どもでしたが、これ以後、那須氏の将来を担ってゆくことになりました。

現在、本品を展示しております。ぜひこの機会にご覧ください。

## ○豊臣秀吉朱印状

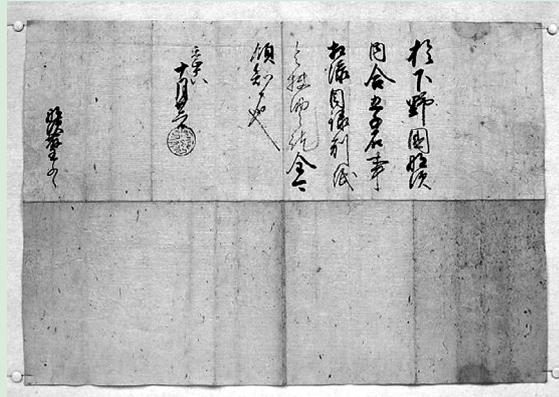
於下野國那須内合五千石事、相添目録別紙令扶助候訖、全可領知候也、

天正十八

（豊臣秀吉）

十月廿二日

那須藤王とのへ



豊臣秀吉朱印状(那須家所蔵・当館寄託)

## ■問い合わせ

那須与一伝承館

TEL (20) 0220

# 彫刻

## 市内で作られた作品とその作者

# 周遊 53

このコーナーは、「那須野が国際彫刻シンポジウム」で公開制作、設置された作品とその作者を連載で紹介いたします。

この作品は金田北中学校に設置してあります。わずかに女性的な凹凸のある釣鐘状の黒い胴体の上に長い髪の毛の染色された女性の頭が乗っています。女性の首が異様に長いのが特徴的です。



女性はやや上を向き、瞑想でもするかのように目を閉じています。

図録では彼女に問かけるようにコメントを残しています。「あなたの雨はいつ止むのですか？」それに対して彼女は「それなら私の雨に濡

れてください」と、とんちんかんな返答をしてきます。「あなたの太陽は何を照らすのですか？」「それでは私の太陽が昇るまで待ってください。でも幸い、今夜は満月です」

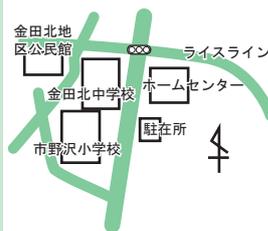


竹下 真澄 氏

かみ合っているようでかみ合わない会話。問いかけをするりとすり抜けるように、手応えない肩すかしの言葉の主こそが、彼女こそが、風そのものの表現なのかもしれません。

作者は静岡県生まれの竹下真澄氏。愛知県立芸術大学で彫刻を学びながら第21回国際瀧富士美術賞を受賞し、同大学院を修了後すぐに本シンポジウムに参加しました。

## 設置場所案内図(★印)



## 風が見える場所

たけした ますみ 日本 2004年  
竹下 真澄

## ■問い合わせ

文化振興課文化振興係 TEL (23) 8718